

## すこやか生活習慣

### がん検診、愛する家族への贈りもの

がんは、昭和56年から日本の死因の第1位で、年間30万人以上（3人に1人）ががんで亡くなっています。生涯でがんにかかる可能性は、男性の2人に1人、女性の3人に1人です。

がんによる死亡を防ぐには、かからないことが重要です。遺伝によるがんは少なく、むしろ喫煙・食生活や運動などの生活習慣が原因になることが多いので、これらに気をつけ発がんの危険性を下げる必要があります。しかし、生活習慣改善の心がけだけでは、危険性が無くなることはありません。

そこで重要なのが、がん検診です。がんは約50%のかたが治ります。特に、初期で発見され適切な治療を受ければ、非常に高い確率で治ります。がんを初期で見つける検診は、死亡率を下げるのに非常に有効です。

自分自身のために、あなたを必要とする人のために、がん検診に行きませんか。

#### <川口市のがん検診>

種類	主な検査項目	対象	間隔
子宮がん	視診、頸部の細胞診・内診など	20歳以上	年1回
乳がん	視触診	30歳以上	年1回
	セット	視診、触診、乳房エックス線検査(マンモグラフィ)など	40歳以上 2年に1回
大腸がん	便潜血検査など	40歳以上	年1回
胃がん	胃部エックス線検査(バリウム)など	40歳以上	年1回
結核・肺がん	胸部エックス線検査など	40歳以上	年1回
	※ご案内を、27ページ「健康ひろば」に掲載しています。		

## 子育て支援

### みんなであそぼう

年齢に応じたあそびを親子で楽しみましょう。子育てに関する親子講習もあります。

対象…おむね1歳(歩行完了児)～3歳の幼児と保護者

持ち物…上はき・手ふき・着替え・ビニール袋

\*飲み物(お茶またはさ湯)は、各自でご用意ください。

場 所	月	1歳児(15組)	2～3歳児(15組)	親子講習 1～3歳児(20組)	時間
南青木 保育所	3月	1日(火) おみせやさんごっこ	2日(水) おみせやさんごっこ	10日(木) フラダンス	9:30 ～ 11:00
	4月	1日(火) おみせやさんごっこ	2日(水) おみせやさんごっこ	8日(火) フラダンス	

●参加申し込みは1カ月1回となります。

申し込み・問い合わせ…子育て支援センター

南青木保育所 ☎048-251-7249 (受付時間 月～金曜日13:00～16:00)  
戸塚西保育所 ☎048-298-4952 (受付開始 2月7日(月)から)

### 園庭開放

2月は、10日(木)・17日(木)。3月は15日(火)・16日(水)です。

申し込み不要の自由参加です。雨天の場合は中止となります。

時間…9:30～11:00(受け付けは9:30～10:00です。)10時までにお入りください。

### 育児相談

日時…毎週月～金曜日 13:00～16:00

場所…南青木保育所 ☎048-251-7261 戸塚西保育所 ☎048-295-0930

※次の場所でも「子育て親子の交流の場の提供」「子育てに関する相談」「子育て情報の提供」を毎日実施しています。また講座などのイベントもあります。

詳細は各保育園にお問い合わせください。

●川口駅前保育園(川口1-1-1 キュボ・ラ8F)

☎048-222-6011

●川口こども園「のびのび」(安行領根岸1291)

☎048-286-0069

●アスク東川口保育園(戸塚4-21-1)

☎048-298-0083

●フォーマザー保育園(東川口3-2-29)

☎048-291-2713

●汽車ばっば保育園「ばけっと」(東川口6-8-18)

☎048-229-6017

# 健康ガイド

## ワンポイントアドバイス

### 「子宮頸がんワクチンについて」

川口市立医療センター  
産婦人科

部長 深井 博



子宮頸がんワクチンは、がんを予防できる初めてのワクチンであり、すでに海外では、数年前から使用されており、わが国でも一昨年、10月に認可になりました。しかし、予防できるのは、子宮の出口のがんである子宮頸がんであり、子宮にできるがんのもう一つである、子宮体がんには効果がないので、子宮の細胞診などの検査は欠かせません。さらに、子宮頸がんワクチンには、使用上いくつかの注意点があります。

その一つが、ワクチンにより子宮頸がんにならずに済むだけでなく、子宮頸がんになる確率が約70%下がるということです。子宮頸がんは発がん性ヒトパピローマウイルスに感染して起こります。ヒトパピローマウイルス(以下 HPV)には100種類以上あり、うち30～40種類が性的接触によって感染し、そのうち15種類ほどが発がん性です。

HPVの感染は、珍しいことではなく、ほとんどの女性は生涯で一度は感染するといわれています。15種類の発がん性 HPV のうち、もっとも頻度の高い2種類の HPV に対するワクチンが作られ、現在使用されていて、効果が約70%程度となります。

HPVは性的接触によって感染しますので、性的接触まえの少女時代に女性がワクチンを使用すると、子宮頸がんになる確率が約70%下がりますが、性的接触しすでに HPV 感染している女性はどの種類の HPV に感染しているかによって、子宮頸がんの予防効果は性的接触のない人より減少します。

ワクチンは3回接種が必要であり、詳細については産婦人科などでよく相談してください。